

## 「神の慰め」

コリント人への手紙第二 1章 3～7節

2022.7.24

【テーマ】 私たちクリスチャンは、どのような苦しみの中にあっても、神の慰めによって、励まされ、支えられ、また同じように他の人をも慰めることができるのです。

### 【アウトライン】

1. 慰めの源なる神の姿 (1:3)
2. 慰めの神の働き (1:4a)
3. 慰められた者の応答 (1:4b～5)
4. 慰めによるパウロたちとコリントの人々との関係 (1:6～7)

#### 1. 慰めの源なる神の3つの姿 (1:3)

私たちの神は、常にいつでもどこでも「ほめたたえられるべきお方」です

##### ① 「私たちの主イエス・キリストの父なる神」

ヨハネ14:9 「ピリポ、～あなたはわたしを知らなかったのですか。  
わたしを見た者は、父を見たのです。」

ヨハネ6:38 「わたしが天から下って来たのは、自分のところを行なうためではなく、わたしを遣わした方のみところを行なうためです。」

ヨハネ3:16 「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

#### ② 「慈愛の父」

2017年版「あわれみ深い父」

ルカ6:36 「あなたがたの天の父があわれみ深いように、あなたがたもあわれみ深くしなさい。」

出エジプト34:6 「**主**、**主**は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、」

申命4:31 「あなたの神、**主**はあわれみ深い神であるから、」

#### ③ 「すべての慰めの神」

2017年版「あらゆる慰めに満ちた神」

「慰め」— 励ます、勇気づける、強める、などの意味がある。

#### 2. 慰めの神の働き (1:4a)

##### ① 私たちを慰めてくださる

###### a. どのような苦しみの時にも

詩31:9 「私をあわれんでください。**主**よ。私には苦しみがあるのです。」  
私たちの苦しみに光を当てて下さり、その光によって私たちは慰められる  
Ⅱコリント4:8～9 「私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。」

ヘブル2:18 「**主**は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。」

b. どのような慰めをもってか

慰めとは

**ギ** パラクレーシス 励ます、強くすすめる、勇気づける、強める、などの意味

I テサロニケ3：2b「それは、あなたがたの信仰についてあなたがたを  
**強め励まし、**」

マタイ5：4「悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。」

エペソ6：22b「また、彼によって心に励ましを受けるためです。」

3. 慰められた者の応答（1：4b～5）

私たちは、他の人のために神に代わって救いをもたらすことはできません。

がしかし、自分たちが苦しみの時、悲しみの時、神が与えてくださった慰めを分かちあふれることができます。

パウロはなおもその理由を5節で説明しています。

ピリピ1：29「あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜ったのです。」

I ペテロ4：13「むしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。」

苦しみがあふえているだけでなく

「慰めもまたキリストによってあふれているからです。」

4. 慰めによるパウロたちとコリントの人々との関係（1：6～7）

a. パウロは、4節で述べたことが、自分たちとコリントの人々との関係においても神が働かれた。

b. コリントの人々との関係の2つ目のこと

パウロたちの希望が動かされなかった2つの理由

① 苦しみを**ともにしている**

② 慰めをも**ともにしている**

「ともにしている」という言葉はあらゆるものを共に分かち合い、担い合うことを意味しています。

II コリント7：4b「私は慰めに満たされ、どんな苦しみの中にあっても喜びに満ちあふれています。」

まとめ